

学校評価アンケート 令和4年度

1 授業や家庭学習など、自らすすんで学ぶことができていますか

【生徒】

		夏	冬
ア	できている	21%	26%
イ	だいたいできている	43%	48%
ウ	あまりできていない	29%	20%
エ	できていない	6%	5%
	回答者合計	100%	100%

【保護者】

	夏	冬
ア	26%	23%
イ	46%	48%
ウ	21%	24%
エ	7%	5%
	100%	100%

【教員】

	夏	冬
ア	0%	0%
イ	76%	69%
ウ	24%	31%
エ	0%	0%
	100%	100%

小学校の同様の質問と比較するとアイの割合が
小学校88% : 中学校64%
と大きく差が見られます。

学習内容が難しくなることによる「苦手意識」が学習意欲の低下につながることが考えられます。
また、家庭学習（宿題）の出題頻度が教科任せであることも要因の一つであると思います。
教科授業において主体的に取り組めるような授業設計になるよう改善してまいります。

生徒においては10pほど改善がみられる結果となつた。1年生が中学校での学習スタイルに慣れてきたこと・3年生が受験に向けて主体的になったことが要因だと考えられます。家庭学習においては宿題以外にも自主学習が定着するように指導をしていきます。

2 人の話をよく聞いたり、自分の考え方を相手に伝えたりすることができますか

		夏	冬
ア	できている	42%	44%
イ	だいたいできている	48%	48%
ウ	あまりできていない	7%	7%
エ	できていない	2%	1%
	回答者合計	100%	100%

	夏	冬
ア	26%	32%
イ	50%	47%
ウ	22%	18%
エ	2%	3%
	100%	100%

3 自分や友達、家族など周りの人を大切にしていますか

		夏	冬
ア	できている	66%	68%
イ	だいたいできている	30%	31%
ウ	あまりできていない	3%	2%
エ	できっていない	1%	0%
	回答者合計	100%	100%

	夏	冬
ア	56%	52%
イ	38%	43%
ウ	5%	5%
エ	1%	1%
	100%	100%

4 友達や家族など周りの人に、気持ちよく自分からあいさつし、必要な時はごめんなさい、ありがとうの言葉が言えますか

		夏	冬
ア	できている	63%	59%
イ	だいたいできている	31%	38%
ウ	あまりできていない	5%	2%
エ	できっていない	1%	1%
	回答者合計	100%	100%

	夏	冬
ア	31%	36%
イ	57%	52%
ウ	10%	11%
エ	2%	2%
	100%	100%

生徒・教員と保護者のアイ回答に差が見られます。
学校で見せる姿と家庭で見せる姿に差異があると考えられます。

年齢的に家族の前では素直な自分を出せないことも考えられますが、人としての良い部分はいつでも、どこでも出せるように伝えていきたいと思います。

各学年ともに人前で自分の考えを伝える機会(SDG's発表、面接練習、チャレンジ体験など)を様々な場面で設定してきたことが生徒と教師の結果に表れています。その力がまだ家庭内や日常生活に反映されるよう、指導を継続していくとともに、来年度に向けて保護者の方にも見ていただける機会を設定していきたいと考えています。

教員の回答に大きな変化が見られました。年度初めには初々しかったあいさつが慣例化てしまい、惰性のようなものになってしまっているようです。生徒自身ができていると感じている部分に加えて、より伝わるあいさつを目指しています。

5 定期的に、自分からすすんで運動していますか。

		夏	冬
ア	できている	41%	38%
イ	だいたいできている	28%	29%
ウ	あまりできていない	21%	25%
エ	できていない	10%	8%
	回答者合計	100%	100%

	夏	冬
	42%	33%
	26%	24%
	22%	27%
	9%	15%
	100%	100%

	夏	冬
	18%	8%
	41%	69%
	35%	23%
	6%	0%
	100%	100%

コロナ禍により、体育の授業や運動部の活動以外での運動機会が大きく失われていることが分かります。「みずからすすんで」ということが難しい状況ですが、体育の授業や学校行事を通して、体を動かす機会を確保しつつ、楽しさを再認識できるようにすすめてまいります。

各対象ごとに低下していることが分かります。3年生の引退、体育祭等の行事が終わったこと、冬になり外での活動機会が減ったことなどが考えられます。今後部活動の在り方も変わっていくとされる中、どのように改善していくか試行錯誤中です。

6 規則正しい生活習慣を身に付け、病気の予防など、健康を保つ努力をしていますか。

	夏	冬	
ア	できている	39%	41%
イ	だいたいできている	41%	38%
ウ	あまりできていない	13%	20%
エ	できっていない	6%	1%
	回答者合計	100%	100%

	夏	冬
	30%	26%
	51%	47%
	14%	21%
	5%	5%
	100%	100%

	夏	冬
	12%	15%
	71%	77%
	18%	8%
	0%	0%
	100%	100%

7 教科の授業を大切にしていますか。

	夏	冬	
ア	できている	54%	51%
イ	だいたいできている	36%	44%
ウ	あまりできていない	6%	5%
エ	できっていない	4%	1%
	回答者合計	100%	100%

	夏	冬
	35%	34%
	45%	47%
	15%	17%
	6%	3%
	100%	100%

	夏	冬
	35%	8%
	65%	92%
	0%	0%
	0%	0%
	100%	100%

8 教科の授業は分かりやすいですか。

	夏	冬	
ア	できている	50%	52%
イ	だいたいできている	41%	42%
ウ	あまりできていない	6%	5%
エ	できっていない	3%	1%
	回答者合計	100%	100%

	夏	冬
	13%	12%
	65%	62%
	13%	23%
	8%	3%
	100%	100%

	夏	冬
	6%	0%
	88%	85%
	6%	15%
	0%	0%
	100%	100%

9 定期テストや学習確認プログラムに、きちんと準備をして臨みましたか。

	夏	冬
ア できている	31%	34%
イ だいたいできている	43%	46%
ウ あまりできていない	20%	16%
エ できていない	6%	4%
回答者合計	100%	100%

夏	冬
29%	22%
37%	47%
26%	21%
7%	10%
100%	100%

夏	冬
12%	0%
71%	77%
18%	23%
0%	0%
100%	100%

10 仲間を大切にできていますか。

	夏	冬
ア できている	75%	73%
イ だいたいできている	20%	25%
ウ あまりできていない	3%	2%
エ できっていない	2%	0%
回答者合計	100%	100%

夏	冬
63%	62%
33%	32%
5%	5%
0%	1%
100%	100%

夏	冬
47%	31%
53%	69%
0%	0%
0%	0%
100%	100%

11 自分を大切にでき、自分を誇れる生き方ができていますか。

	夏	冬
ア できている	39%	45%
イ だいたいできている	44%	41%
ウ あまりできていない	12%	14%
エ できっていない	5%	1%
回答者合計	100%	100%

夏	冬
31%	35%
55%	44%
12%	18%
2%	3%
100%	100%

上記の「すすんで学習する」という質問とリンクする回答と考えられます。生徒・保護者の目線で25%から30%がウエーと低い評価となりました。クラスの4人に1人以上は十分な準備ができるおらずに試験に臨んでいるということが分かります。自らの学習の定着度を把握するためには準備をしっかりすることが大切だと考えます。試験そのものの意義と準備をすることの意義を再度確認させるとともに、十分な取り組みなるよう言葉をかけていきたいと考えます。

おおよそ8割の生徒が「できている」と回答しています。大人の目線だと「まだまだ、もっともっと」という思いがあり、生徒自身の満足度と乖離する部分が見られます。生徒の努力を認めつつも、現状を越えていくことの大切さも伝えていきたいです。

12 学校や社会のルールやマナーを守っていますか。

	夏	冬
ア できている	63%	61%
イ だいたいできている	32%	37%
ウ あまりできていない	3%	2%
エ できっていない	2%	0%
回答者合計	100%	100%

夏	冬
56%	54%
42%	40%
2%	4%
0%	2%
100%	100%

夏	冬
35%	8%
65%	92%
0%	0%
0%	0%
100%	100%

「誇れる生き方」という質問に対し、生徒と教師で異なる回答となりました。生徒自身が「生き方」 = 「人生」という大きなテーマにおいて「よりよく生きたい」という考え方の表れだと考えます。ここ数年実施できなかった職場体験（チャレンジ学習）も今年度から事業所の協力を得て再開しました。自分自身の生き方について考える場面をキャリア教育の観点から充実させていくことで生徒自身の「よりよい生き方」につながるようにすすめてまいります。

各学年ともにキャリア教育として「職業についての講演」「将来に向けての進路指導」「SDG's探究学習」「チャレンジ体験」などを実施していましたが、解答自体はマイナスに動いている部分もあるようです。思春期の「自分を見つめる」中で、よりよいものをを目指しながらも現状の自分自身に不満を抱えているかもしれません。人とのかかわり方や努力と成長のサイクルを体験させ、少しづつ自信をつけさせることが今後の課題と考えています。

13 部活動など課外活動(学校外での活動を含む)に一生懸命に取り組んでいますか。

		夏	冬
ア	できている	62%	64%
イ	だいたいできている	30%	30%
ウ	あまりできていない	5%	4%
エ	できていない	3%	3%
	回答者合計	100%	100%

	夏	冬
	58%	52%
	34%	27%
	5%	12%
	4%	8%
	100%	100%

	夏	冬
	24%	23%
	71%	77%
	6%	0%
	0%	0%
	100%	100%

14 運動や読書、DVD鑑賞など、ストレスをため込まない術がありますか。

	夏	冬	
ア	できている	51%	57%
イ	だいたいできている	33%	36%
ウ	あまりできていない	9%	4%
エ	できていない	6%	3%
	回答者合計	100%	100%

	夏	冬
	53%	44%
	40%	42%
	7%	12%
	0%	2%
	100%	100%

	夏	冬
	24%	0%
	71%	100%
	6%	0%
	0%	0%
	100%	100%

15 「早寝・早起き・朝ごはん」など、自分の健康管理に努めていますか。

	夏	冬	
ア	できている	40%	38%
イ	だいたいできている	41%	39%
ウ	あまりできていない	15%	19%
エ	できっていない	5%	4%
	回答者合計	100%	100%

	夏	冬
	29%	29%
	40%	45%
	28%	19%
	3%	7%
	100%	100%

	夏	冬
	18%	15%
	71%	77%
	12%	8%
	0%	0%
	100%	100%

16 学校行事に楽しく参加しましたか。

	夏	冬	
ア	できている	65%	74%
イ	だいたいできている	28%	24%
ウ	あまりできていない	5%	2%
エ	できっていない	3%	0%
	回答者合計	100%	100%

	夏	冬
	51%	62%
	43%	33%
	4%	5%
	2%	1%
	100%	100%

	夏	冬
	53%	69%
	47%	31%
	0%	0%
	0%	0%
	100%	100%

コロナ禍により、健康管理に対する意識は以前よりも向上していると考えています。家庭生活を把握されている保護者の回答が信頼性の高いものと考えると3人に1人は不規則な生活だと考えられます。学校生活を豊かにするためには健康的な生活が大切です。また全国学力状況調査の結果からも、朝食の接種率は学力に関係しているとの結果も出ています。朝から元気に登校して、充実した学校生活にするためにも規則正しい生活が送れるよう食育等の観点から指導するとともに、ご家庭でもご協力ををお願いいたします。

コロナ禍により、日常的なマスクや検温、手洗いなどが以前よりも一般的となつてきましたが、「早寝、早起き、朝ごはん」に関しては改善が必要な部分でもあります。健康的な生活スタイルが体はもちろん学習面、生活面にもいい影響を与えることをもう一度確認して、自己の成長につながる中学生の時期を大切にしてもらえるよう指導を継続してまいります。ご家庭でも引き続きご協力をお願ひします。

17 学校には楽しく来ることができますか

		夏	冬
ア	できている	61%	61%
イ	だいたいできている	29%	33%
ウ	あまりできていない	6%	6%
エ	できていない	4%	1%
	回答者合計	100%	100%

	夏	冬
	56%	56%
	36%	34%
	4%	8%
	5%	2%
	100%	100%

	夏	冬
	35%	23%
	65%	77%
	0%	0%
	0%	0%
	100%	100%

18 花山中学校の教職員は、生徒のことを大切にしていますか。

	夏	冬	
ア	できている	74%	70%
イ	だいたいできている	24%	30%
ウ	あまりできていない	2%	0%
エ	できていない	1%	0%
	回答者合計	100%	100%

	夏	冬
	42%	40%
	56%	50%
	2%	9%
	0%	2%
	100%	100%

	夏	冬
	47%	54%
	53%	38%
	0%	8%
	0%	0%
	100%	100%